

- 設立総会／40周年記念式典開催の様相 -----①
- 記念講演(一社)日本計量振興協会 飯塚顧問 -①
- 新理事名簿／事業担当グループ -----②
- シニア計コン資格取得者 -----②
- 会員のひろば -----②

一般社団法人 計量器コンサルタント協会設立 会長には植村実敏氏が就任 設立40周年記念式典も盛大に開催



開催の挨拶をする
植村代表理事



東京都計量検定所
副所長
柳沢 潔氏

一般社団法人計量器コンサルタント協会は、6月13日に設立総会および東京都計量器コンサルタント協会創立から数えて40周年を迎えた記念式典を、東京都港区海岸のアジュール竹芝で盛大に開催した。

■ 設立総会と記念講演会

設立総会は、石井康二氏の司会進行により、まず事務局から総会成立報告があり、総会成立宣言がされた。つづいて、設立時の代表理事の挨拶として植村実敏氏が壇上に立ち、創立40周年を機に一般社団法人となった簡単な経緯や、法人化となった意気込みや今後の目標について「法人化となった新しい器(計量器コンサルタント協会)に、どんな料理を盛りつけるかは、会員一人一人が考えていかなければならない」と語った。

来賓を代表して、東京都計量検定所柳沢潔副所長が祝辞を述べた。

植村氏を議長に選出して、議事を進行し、第1号議案の新理事および監事の選任となり、事務局案を原案通り承認した。緊急の理事会を開き、会長、副会長を選出した。旧団体から引き継ぎ会長には植村実敏氏、副会長に八木佑幸、近藤正孝、石井康二、佐藤哲の各氏に決まった。業務執行理事については、後日決定する。

総会を再開し、理事会内容を報告し、ほか2012(平成24)年度東京都計量器コンサルタント協会議事録の報告、新定款の説明、40周年記念事業委員会活動報告、2012(平成24)年度事業計画、同収支予算、シニア計量器コンサルタントの発表などがあつた。

議事が無事終了したあと、八木副会長が総会終了の挨拶をした。

休憩を挟み、講師に前日本計量振興協会会長、現同会顧問の飯塚幸三氏を招いて「我が国の計量制度—過去・現在・未来—」の演題で記念講演会を開いた。

■ 創立40周年記念式典

講演会終了後、会場を移して大森規雄理事の司会進行で「創立40周年記念式典」を開き、まず植村会長の挨拶があり、印南武雄東京計量士会会長の音頭で乾杯した。途中カラオケも入り、会場も盛り上がり、佐藤哲副会長が締めめの挨拶をして、閉会した。



総会の様子



記念講演講師
(一社)日本計量
振興協会
顧問 飯塚幸三氏



熱心に聞き入る
参加者の様子

新理事・監事／事業担当グループ決まる

総会において、第1号議案の新理事選任は無事に承認された。新理事、監事の名簿は以下の通り。

氏名	所属	担当グループ
会長(代表) 植村実敏		
副会長 八木佑幸	新日本度量衡(株)	①
副会長 佐藤 哲	(株)柴田製作所	③
副会長 近藤正孝	(株)三友産業社	④
副会長 石井康二	太陽計器(株)	②
理事 吉川和男	(株)ニューロン	④
理事 奥野正典	幸和精機産業(株)	①
理事 横田賢次郎	(株)横田計器製作所	④
理事 渡邊十六箕	渡邊度量衡(株)	③
理事 山本正之	ザルリウス・カトニクス・ジャパン	①
理事 数野賢二	ケーバランス	④
理事 竹内芳和	(株)タニタ	③
理事 横須賀哲雄	(株)メジャーテックツルミ	②
理事 大森規雄	共栄衡器(株)	②
理事 小野 学	(株)日本計量新報社	②
理事 吉田 茂	(株)東京ミュー精器	③
理事 安並 淳	(合)安並化学衡器製作所	①
監事 山田基夫	(有)山田特殊計器製作所	
監事 山口精一	(株)ワーク衡業	

6月27日に理事会が開催され今年度事業の担当グループが決まった。従来の2グループに加え、「新規事業」及び「会員数拡大」をテーマに新たに2グループを作り4グループとした。各副会長がそれぞれのグループを担当する。各グループの

平成24年度シニア計量器コンサルタント資格認定者決まる

平成24年度のシニア計量器コンサルタント資格の認定者が決まった。今年は第3回目の資格認定となり、16名のシニア計量器コンサルタントが誕生した。認定者は以下の通り。

01 岩下貞治	岩下度量衡(株)
02 渡邊十六箕	渡邊度量衡(株)
03 佐藤 哲	(株)柴田製作所
04 植村実敏	(一社)計量器コンサルタント協会
05 山田基夫	(有)山田特殊計器製作所
06 奥野正典	幸和精機産業(株)
07 八木佑幸	新日本度量衡器(株)
08 吉川和男	(株)ニューロン
09 大森規雄	共栄衡器(株)
10 石島邦博	(一社)計量器コンサルタント協会
11 鎌倉慎一	(株)ニューロン
12 石井康二	太陽計器(株)
13 小野 学	(株)日本計量新報社
14 居鶴義雄	(株)ワーク衡業
15 横須賀哲雄	(株)メジャーテックツルミ
16 竹内芳和	(株)タニタ

テーマは次の通り。

第1グループは、研修、見学会。第2グループは、広告宣伝、情報、HP、Libra。第3グループは、新規事業展開。第4グループは、会員数拡大とした。なお、業務執行理事は近藤正孝氏。

会員の広場

会員企業紹介

ウエストゲージ株式会社

設立日:2009年12月

所在地:東京都荒川区西尾久8-28-9

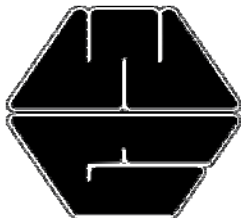
URL: <http://www1.tcn-catv.ne.jp/westgauge/>

弊社代表取締役である西清志は計量器コンサルタントの資格を取得してから30年近くの時間が経ちました。この度その年月で培った経験と技術を生かしウエストゲージ(株)を設立致しました。弊社では圧力計・温度計等の校正をメインに、製造・販売の業務を行っております。試験器では重錘型圧力計、液柱型圧力計の校正・製造を行っており、現在新型の試験器として微圧標準重錘型圧力計(200~1000Pa)を開発しており、その他の製品に関しましても従来よりもより高品質な製品の開発を目指しお客様により良いサービスを提供できるよう努めております。

校正についてはこれまでよりも低価格での校正を目指し、お客様のご要望に合わせて短納期での取引を実現できるよう努めております。また弊社オリジナルとしてセミリジットケーブル切断機の製造、EL板(有機EL技術を使った文字盤の照明)、同軸加工機のブレード研磨の業務など、その他にもお客様のニーズに合わせて技術提供させていただきます。またJCSS校正も承っております、明瞭な技術説明と見積り体系を目指して努めております。

主な取扱い製品・業務

圧力計、温度計、電子計測器、精密工作機器、基準重錘型圧力計、基準液柱型圧力計、微圧標準重錘型圧力計(200~1000Pa)、小形精密歯車、セミリジットケーブル切断機、EL板、圧力計針抜き、他圧力計部品各種、取扱い製品全般の校正・加工・修理、同軸加工機のブレード研磨、シルクスクリン印刷技術



左: ロゴマーク
右: 取扱製品群

計量コラム

「硬貨の重さ」

私たち計量人が知ってるつもりが？実は知らなかった。そんな用語を調べてみました。今回は筆休めで「硬貨の重さ」についてです。

私たちが普段使用している「硬貨」の重さはどの位なのでしょうか？

それぞれの「硬貨」の重さは、通貨の単位及び貨幣の発行等による法律施行令で定められています。

この政令によると、一般的な現行硬貨の重さは次のとおりです。

種類	重さ	直径	素材
一円硬貨	1.0g	20mm	アルミニウム
五円硬貨	3.7g	22mm	黄銅
十円硬貨	4.5g	23.5mm	青銅
五十円硬貨	4.0g	21mm	白銅
百円硬貨	4.8g	22.6mm	白銅
五百円硬貨	7.0g	26.5mm	ニッケル黄銅

一円硬貨を利用して、5万分の1の地図に乗せるとちょうど1kmを測ることが出来ます。ちなみに世界で一番重い硬貨(2011年10月30日現在)は、西オーストラリアのパーズ造幣局が製作した直径約80cm、厚さ12cm強、純度99.9%という金貨で、重量は1tもあるそうです。

